

IR 実務担当者のための事例解説： 中途退学防止についての文献レビューを意思決定支援につなげる方法

■ 自己紹介（どのような環境の人が話をするのか）

○業務（EM・IR 部、学務企画部）

- － IR 担当部署の業務（学部学科、部署を横断する観点でデータ分析、情報提供）
- － その他全学に関わる業務（意思決定会議・教授会・委員会、文部科学省など申請、認証評価）

○所属大学

- － 在籍者数（平成 27 年度 5 月 1 日）：大学 1,490 名、短大 245 名
- － 専任教員（平成 26 年度 5 月 1 日）：大学 86 名、短大 21 名
- － 専任職員（平成 26 年度 5 月 1 日）：75 名（大学＋短大）

■ 用語、状況

○IR（インスティテューショナルリサーチ）

- － 定義（『高等教育に関する質保証関係用語集 3rd Edition』[1]）
 - ・ 「高等教育機関内の調査研究を実施する機能又は部門。機関情報を一元的に収集、分析する事で、機関が計画立案、政策形成、意思決定を円滑に行うことを可能とさせる。また、必要に応じて内外に対し機関情報の提供を行う。」
- － 日本の状況
 - ・ IR 部署・担当者を置く大学が増えている
 - － 私立の状況：平成 25 年度 29%、平成 26 年度 46%
（「私立大学等改革総合支援事業」の調査票の集計結果）
 - ・ 何から始めればよいのか、具体的に何をすればよいのか
（「IR 実務担当者連絡会」の開催主旨）

○意思決定支援

- － 意思決定とは以下の過程（Mintzberg et al., 1976 [2]；訳は桑田・田尾, 2010 [3]）
 - ・ 何が問題かを意識する
 - ・ 解決するために必要な情報を集約する
 - ・ その中で最善の選択肢を選んで行動を起こす

○中途退学

- － 中途退学者数（文部科学省「学生の中途退学や休学等の状況について」[4]）
 - ・ 全学生数約 300 万人のうち 2.65%に当たる約 7 万 9 千人（平成 24 年度）
 - － 国公立大学、公私立短期大学、高等専門学校の数値

■ 事例解説

○事例解説をする理由

- － [考え方] と [整理された事例紹介] の間にある実務の話が足りていない
- － 知見を得ようとしても簡単ではない
 - ・ 学会・研究会などに参加するためには、お金・時間・勇気が必要
- － 文献から知見を得て、参考にする
 - ・ 補完的な情報源
 - － 短所
 - ・ 対外的に言えないことは出てこない
 - ・ 詳細なノウハウは出てこない
 - ・ 直接聞くのが難しい
 - － 長所
 - ・ お金がそれほどかからない
 - ・ 好きなときに読むことができる
 - ・ 関連文献をたどることができる

○行ったこと

- － リクエストの意図・背景を理解する
 - ・ 担当者の思い込みで調べ始めない
 - ・ どのような方法で意図・背景を理解できるか考える
- － 3つの情報源
 - ・ 基礎的な集計
 - － 経営上の目標値
 - － 経年変化（退学者数、退学理由など）
 - ・ 取り組み状況
 - － クラス担任ガイドライン
 - － 委員会、支援チーム
 - － システムを用いた支援
 - ・ 週間ポートフォリオ
 - ・ 連続欠席通知メール（クラス担任、担当部署）
 - ・ 詳しい人物
 - － 委員長、担当部署の長
 - ・ 活動状況、求めている情報、情報提供した際の感触
 - － クラス担任、担当窓口職員
 - ・ 対応の現場で感じていること、困っていることなど
- － 3つの情報源から得たこと

- － 文献を調べる（無料、手軽）
 - ・ Google Scholar (<https://scholar.google.co.jp/>)
 - ・ CiNii Articles (<http://ci.nii.ac.jp/>)
- － 文献に書かれていたこと
 - ・ 単位取得状況の分析
 - ・ 入学初期の出欠状況の分析
 - ・ 初年次教育の重要性
- － 分析した内容
 - ・ 1 年次に退学した学生を対象に集計
 - ・ 1 年次単位取得数<前期・後期>
 - － 退学学生
 - － それ以外の学生の平均
 - ・ 1 年次前期の出欠状況
 - ・ 得られた情報
- － わかりやすい資料にする

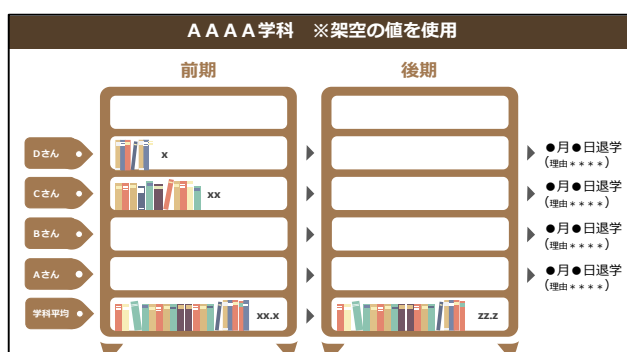


図 1：1 年次退学学生の単位取得数

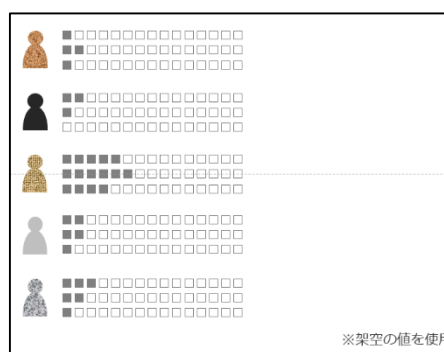


図 2：1 年次退学学生の出席状況

○行うこと（検討中）

- － 学科・部署窓口の教職員を通して意見聴取
- － 情報提供
 - ・ 関連委員会（対策検討）
 - ・ 意思決定会議で審議
 - ・ 学科運営方針に反映

【参考文献】

[1] http://www.niad.ac.jp/n_shuppan/package/no9_21_niadue_glossary3_2011_v2.pdf
 [2] Mintzberg, H., Raisinghani, D., & Théorêt, A. (1976). The structure of "unstructured" decision processes. *Administrative science quarterly*, 21(2), 246-275.
 [3] 桑田耕太郎・田尾雅夫 (2010). 組織論：補訂版 有斐閣
 [4] http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/26/10/_icsFiles/afieldfile/2014/10/08/1352425_01.pdf